

高知県が少子・高齢化、人口減少社会から反転し、活力ある社会を築くための産業施策と労働施策のベストミックスについて

高知県は、全国に先行して急速に少子・高齢化、人口減少が進行しており、これに歯止めをかけるには定住者を増やすことが必要です。仕事のある土地に仕事を求めて人が集まり、仕事を得た人が職場の周辺地に定住することを考えますと、定住者を増やすためには、県内各地に様々な産業とそれを支える定住生活を可能とする良質な正社員雇用の確保、創出が決め手となります。つまり、産業施策と労働施策のベストミックスがあって良質な正社員雇用の確保、創出の実現が加速されます。

そのベストミックスを図るため、高知労働局は、「産業振興計画の推進」「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」「日本一の健康長寿県づくり」などにより産業振興と雇用の確保、創出に取り組んでいる高知県と平成26年7月に雇用対策協定を締結し、「女性の活躍促進」、「地域の実情に応じた雇用機会の確保・創出」等6分野で、それぞれの強味を発揮しながら連携して雇用対策を実施しています。

高知労働局では、生み出された雇用が定住生活を可能にする良質なものとなるよう、県内労使の皆様方と共に、労働基準、職業安定、職業能力開発及び雇用均等の四行政の総合力を発揮して、性別、年齢、障害の有無を問わず能力を発揮でき、労働災害の無い安全、労働基準法等の雇用ルールが守られ、妊娠、出産、育児、介護などで離職する必要のないワーク・ライフ・バランスが取れた、パワハラ、セクハラの無い風通しの良い安心、安定した正社員職場を増やすこと、その職場から新卒、中途採用を問わず多くの正社員求人をしていただき、県内外の求職者とマッチングし、スキルが不足する求職者の方には職業訓練によってスキルアップを図り、人材を求める求人企業の期待に応えつつ、1人でも多くの正社員求職者の方の願いが叶うように取り組んでいます。

良質な正社員雇用を確保、創出するためには、各産業、各企業の実情に応じた経営トップのリーダーシップと労使の知恵の結集によって、5S運動、多能工化による所定外労働時間を減少させ、年次有給休暇を取得しやすくする安全で効率的な働き方、多様な正社員制度の導入、非正規雇用労働者の処遇改善など、全ての人々がワーク・ライフ・バランスをとりながら能力を発揮でき、多様な人材の確保がしやすくなる「働き方改革」が求められています。

本会議におきましては、「定住の決め手は良質な正社員雇用の確保、創出」という観点から、

正社員雇用の確保・創出

女性、高年齢者、障害者の活躍推進

少ない残業しか必要としない効率的な働き方の実現

といった取組について、時間の許す限り、お集まりの皆様から自由闊達なご意見・ご要望をいただくとともに、それぞれの組織で取り組んでおられることや、検討されていることなどがあればご紹介いただければと存じます。